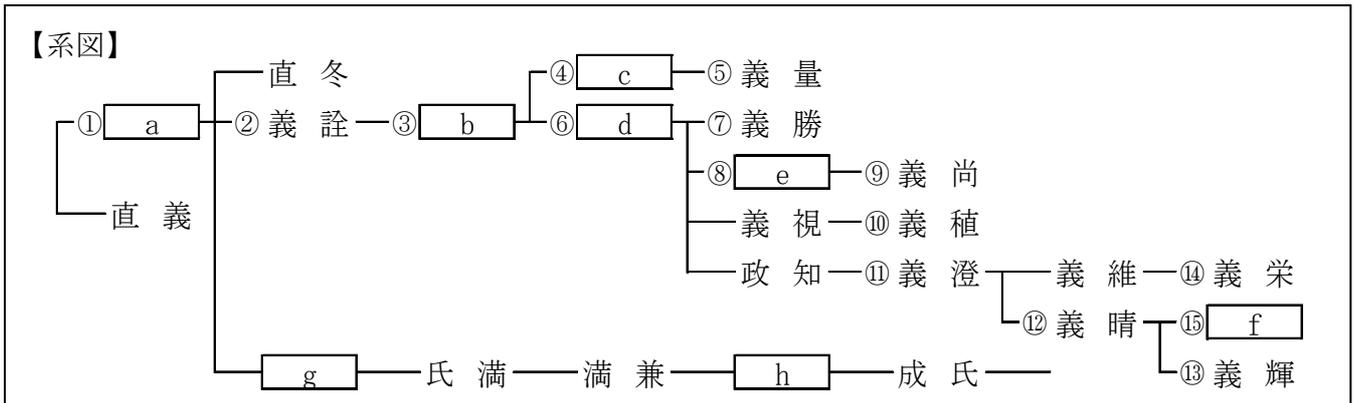


【一】 次の系図を見て問いに答えよ。図中の数字は将軍就任順である。



問1 系図中の a ~ h にあてはまる人名を語群から選び、記号で答えよ。＜観点 d＞

- 【語群】 ア. 義政 イ. 尊氏 ウ. 義教 エ. 基氏 オ. 義満
 カ. 持氏 キ. 義持 ク. 義昭

問2 次の説明に当たる事項を語群から選び、記号で答えよ。＜観点 d＞

- (1) a ・高師直と直義の争い (2) b が大内義弘を討った事件
 (3) b が山名氏清を討った事件 (4) d が h を討って滅ぼした事件
 (5) d が赤松満祐に討たれた事件

- 【語群】 ア. 明德の乱 イ. 応永の乱 ウ. 観応の擾乱 エ. 永享の乱 オ. 応仁の乱
 カ. 嘉吉の乱

問3 a が幕政の参考のために諮問・答申させた政治の方針書を次から選び、記号で答えよ。＜観点 d＞

- ア. 建武式目 イ. 貞永式目 ウ. 建武以来追加 エ. 貞観格式

問4 a が湊川の戦いで討ち破った武将を次から選び、記号で答えよ。＜観点 d＞

- ア. 北条高時 イ. 北畠親房 ウ. 三浦義村 エ. 楠木正成

問5 b が南朝側と交渉して南北朝の合体を実現した年代を次から選び、記号で答えよ。＜観点 d＞

- ア. 1336年 イ. 1352年 ウ. 1392年 エ. 1400年

問6 d の頃に出た日蓮宗の日親の布教は他宗と激しく衝突した。日蓮宗徒と延暦寺とが衝突した結果、日蓮宗徒が京都から追われた事件を次から選び、記号で答えよ。＜観点 d＞

- ア. 霜月騒動 イ. 承久の乱 ウ. 日蓮の法難 エ. 天文法華の乱

問7 e が応仁の乱後に、京都の東山に建てた山荘を次から選び、記号で答えよ。＜観点 d＞

- ア. 鹿苑寺金閣 イ. 慈照寺銀閣 ウ. 円覚寺舍利殿 エ. 三十三間堂

問8 f が室町幕府の最後の将軍であった。室町幕府が滅んだ年を次から選び、記号で答えよ。

- ア. 1560年 イ. 1573年 ウ. 1582年 エ. 1588年 ＜観点 d＞

問9 g の系統が継いだ役職を次から選び、記号で答えよ。＜観点 d＞

- ア. 鎌倉公方 イ. 管領 ウ. 関東管領 エ. 侍所

＜解答＞ 問1 a イ b オ c キ d ウ e ア f ク g エ h カ

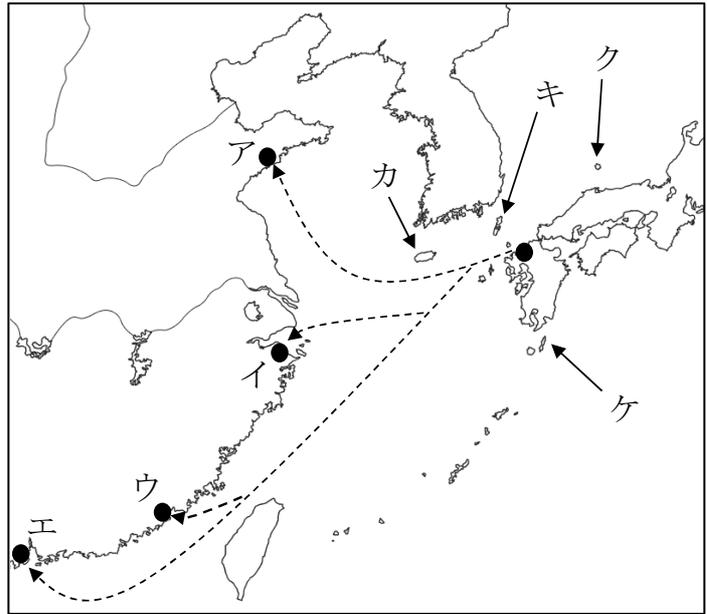
問2 (1)ウ (2)イ (3)ア (4)エ (5)カ 問3ア 問4エ 問5ウ

問6エ 問7イ 問8イ 問9ア

各1点 計20点

【二】下の図を見て問いに答えよ。

将軍	事項	中国	朝鮮
尊氏	1342 A 船 →	元	高麗
義詮		1368	
義満	前期 B ※松浦を根拠としていた		1392
義持	1401 遣使 → C 貿易開始 1411 国交中断 1419 D		
義量			
義教	1432 国交回復 →	明	朝鮮
義勝	1443 ^{まがひ} 癸亥条約		
義政			
義尚			
義植			
義澄			
義植	1510 E ↑		
義晴	1523 F ↑		
義輝	後期 B ※中国人を主体としていた		
義栄			
義昭			
	1588 海賊禁止令		



- (1) **A** は、尊氏・直義兄弟が後醍醐天皇の冥福を祈るために建てた寺院である。この寺院の名前を次から選び、記号で答えよ。<観点 d>
ア. 建長寺 イ. 龍安寺 ウ. 南禅寺 エ. 天龍寺
- (2) **A** 船は、ある禅僧の意見で中国に派遣された。その禅僧の名前を次から選び、記号で答えよ。<観点 d>
ア. 義堂周信 イ. 夢窓疎石
ウ. 絶海中津 エ. 無学祖元
- (3) **B** にあてはまる語を漢字 2 字で記せ。<観点 d>
- (4) **C** は、貿易が明と開始された年である。これについて問いに答えよ。
① **C** は何年のことか、記せ。<観点 d>
② この貿易船が **B** の船でないことを証明するものを **G** 符といった。 **G** にあてはまる語を漢字 2 字で記せ。<観点 d>
- (5) **D** について問いに答えよ。
① **D** は、朝鮮が **B** の本拠地を対馬と思い、襲撃した事件である。 **D** にあてはまる語を記せ<観点 d>
② 「対馬」は地図中のカ~ケのどこか、記号で答えよ。<観点 b>
- (6) **E** は、乃而(ないじ)浦(ほ)・富山(ふざん)浦(ほ)・塩浦(えんほ)の居留日本人が特権の縮小に抗議して起こした反乱である。 **E** にあてはまる語を記せ。<観点 d>

(7) **F** は、細川氏と大内氏の船が明の港で争った事件である。

- ① その港の名称をカタカナで記せ。<観点 d>
- ② ①の場所を地図中の記号ア~エで答えよ。<観点 b>

<<解答>> (1) エ (2) イ (3) 倭寇
 (4) ①1404年 ②勘合
 (5) ①応永の外寇 ②キ
 (6) 三浦の乱 (7) ①ニンポー ②イ
 各1点 計10点

【三】 次の文章を読んで、問いに答えよ。

鎌倉幕府の成立当初は、朝廷と幕府の公武両政権が二重に全国を支配した。しかし、幕府の経済基盤は、朝廷と同じように数か国の①知行国と②荘園で、守護は国ごとに、地頭も荘園や国衙領を単位に任命されることが多かったため、両方とも荘園公領制を基礎とした権力である。

この二元的支配は、1221年の **A** の乱以後、揺(ゆ)らぎ始める。わけでも、乱後の処置として幕府が③上皇方の所領を没収し、西国を中心に (1) 11 町ごとに 1 町の免田、(2)反別 5 升の **B** 米、(3)山野河海からの収益の半分の取得が定められた。この基準を **C** 率法といい、これを適用された地頭を **C** 地頭と呼んだ。また守護が、④国内の荘園・公領ごとの田畑の面積・領有関係を示す文書を作成する役割をも吸収するようになる。こうして、幕府は東国的地方政権から全国的政権に脱皮(だっぴ)していく。

一方、地頭は、幕府の権威を背景に自らの権限をこえ、また、荘園領主の権限を侵(おか)し、荘園領主との間での紛争が増加し始めた。それに加えて、御家人間の所領関係についての訴訟も増えてきたこともあって、幕府は、**D** 以来の先例や **E** と呼ばれた⑤武家社会の慣習や道徳にもとづいて裁判の公平な基準として⑥「御成敗式目(**F** 式目)」を成分化する。しかし、地頭の行動は阻止できず **A** の乱以後、⑦荘園領主が所領の一部の支配権を地頭に譲(ゆず)り、土地を分割してそれぞれが互(たが)いに干渉(かんしょう)しないように取り決める現象があらわれる。この地頭の領主化の動きは、旧来(きゅうらい)の土地領有のあり方を変えていくことになるのである。

問 1 **A** ~ **F** にあてはまる語を記せ。ただし、解答はすべて漢字 2 字で記せ。<観点 d>

問 2 下線部①で、将軍を知行国主とするものを何というか、記せ。<観点 d>

問 3 下線部②で、将軍を本所とするものを何というか、記せ。<観点 d>

問 4 下線部③で隠岐に流された人物名を記せ。<観点 d>

問 5 下線部④は、当時、田数帳・凶田帳とも呼ばれていたが、総称して何というか。<観点 d>

問 6 下線部⑤では、宗家(本家)の長を中心として武士団が組織されていた。こうした体制を何と称するか、記せ。<観点 d>

問 7 下線部⑥について次の問いに答えよ。

I これを制定した執権名を記せ。<観点 d>.

II. 次の説明文のうち、誤りがあるのはどれか、記号で答えよ。<観点 d>

ア. 1232 年に制定された鎌倉幕府の基本法典で、全文 51 か条からなっている。

イ. 教養の低い武士たちにも理解できるように平易な表現をとっている。

ウ. 幕府の勢力範囲のみならず全国に適用された。

エ. 女性の地位が高く、女性の地頭職の所有権、相続権を認めている。

III. これの成立当初、武家社会において一般的であった相続のあり方を何というか、記せ。<観点 d>

問 8 下線部⑦を何と呼ぶか、記せ。<観点 d>

《解答》 問 1 A. 承久 B. 加徴 C. 新補 D. 頼朝 E. 道理 F. 貞永

問 2 関東御分国(関東知行国) 問 3 関東御領 問 4 後鳥羽上皇 問 5 大田文

問 6 惣領制 問 7 I. 北条泰時 II. ウ III. 分割相続 問 8 下地中分

各 2 点 合計 30 点

【四】 次の A～J を読み、指示にしたがって答えよ。

①・②がいずれも正しい場合は、アを答えよ。①が正しくて②が誤っている場合は、イを答えよ。

①が誤っていて②が正しい場合は、ウを答えよ。①・②がいずれも正しい場合はエを答えよ。<観点b>

- A ① 鎌倉幕府の侍所の長官(別当)は、大江広元である。
 ② 鎌倉幕府の問注所の初代長官(執事)は、三善康信である。
- B ① 承久の乱後、後鳥羽上皇の院政が、始まった。
 ② 承久の乱後、北条義時は京都六波羅にとどまり、六波羅探題となった。
- C ① 叡尊は、大和の西大寺を中心に戒律の復興とその民衆化につとめた。
 ② 忍性は叡尊の弟子で、戒律の復興につとめ、鎌倉建長寺の開祖となった。
- D ① 金沢文庫は、北条時頼が称名寺内に建てた私設図書館である。
 ② 足利学校は、上杉憲実が再興して発展した学校で宣教師ザビエルから「坂東の大学」と称された。
- E ① 借上は、鎌倉時代頃から見られるようになった高利貸しである。
 ② 問丸は、鎌倉時代頃から見られるようになった商品の中継と委託販売や運送を^{なりわい}業とした者である。
- F ① 大覚寺統から即位した後醍醐天皇は、院政を廃止して記録所を再考するなど天皇親政を目指した。
 ② 元弘の変では、後醍醐天皇は再度討幕計画を起こしたが、失敗して隠岐に流された。
- G ① 明德の乱は、将軍足利義満が大内義弘を挑発して討伐した事件である。
 ② 応永の乱は、山名氏清が領国和泉の堺で反乱を起こし、将軍足利義満に討伐された事件である。
- H ① 庭訓往来は、南北朝から室町時代初期の手紙文を用いた庶民の教科書である。
 ② 御伽草子は、室町時代の庶民に好まれた短編物語集である。
- I ① 林下は、^{りんか}権力者の保護を受けず自由な活動を求めて民間布教につとめた禅宗諸派である。
 ② 五山は、南宋の官寺の制にならった曹洞寺院の寺格である。
- J ① 菟玖波集は、一条兼良らが撰した最初の連歌集で、^{ちよくせん}勅撰に準じられた。
 ② 新撰菟玖波集は、宗祇が撰した正風連歌のみを集めた連歌集で、勅撰に準じられた。

◀解答▶ A. ウ B. エ C. イ D. ウ E. ア F. ア G. エ H. ア I. イ J. ウ
 各2点 合計20点